

令和 7 年度

補 助 金 の 成 果

一 般 会 計

岩 美 町

一般会計	2 款（総務費） 1 項 6 目	主管課	住民生活課
------	------------------	-----	-------

第 1 1 次総合計画の基本計画		魅力ある郷土を守り 活かすまち																					
補助金名	家庭用発電設備等導入推進補助金	補助団体名	町民、町内の事業所																				
補助金額 (千円)	3,711	左記補助金に係る特定財源（千円） 県補助金 1,855																					
補助対象 事業費(千円)	3,711																						
補助団体の活動状況																							
補助目的		太陽光発電などの家庭用発電設備等を設置する者（町民及び町内事業所）に対し、設置費用の一部を支援することで導入を推進し、省エネルギー・CO₂の削減を図ることで、地域の脱炭素化社会を目指す。																					
補助の成果		家庭用発電設備等の導入を支援し再生可能エネルギーの利用を促進することで、家庭におけるCO₂排出量の削減と脱炭素化社会の実現に対する意識の高揚に寄与した。 【令和7年度までの事業実績】（補助金申請件数：14件） ※うち8件は、住宅新築・リフォーム助成を申請 <table> <tr> <th>対 象</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th><th>令和7年度</th></tr> <tr> <td>太陽光発電システム</td><td>17件</td><td>16件</td><td>11件</td></tr> <tr> <td>家庭用蓄電池</td><td>10件</td><td>15件</td><td>8件</td></tr> <tr> <td>薪ストーブ等</td><td>4件</td><td>0件</td><td>1件</td></tr> <tr> <td>計</td><td>31件</td><td>31件</td><td>20件</td></tr> </table>		対 象	令和5年度	令和6年度	令和7年度	太陽光発電システム	17件	16件	11件	家庭用蓄電池	10件	15件	8件	薪ストーブ等	4件	0件	1件	計	31件	31件	20件
対 象	令和5年度	令和6年度	令和7年度																				
太陽光発電システム	17件	16件	11件																				
家庭用蓄電池	10件	15件	8件																				
薪ストーブ等	4件	0件	1件																				
計	31件	31件	20件																				
今後の課題		太陽光発電設備は、災害時における電力の確保や平常時における電力量の削減など、日常生活に密着したシステムであり、今後も脱炭素社会の実現に向けて導入促進に取り組む必要がある。 令和7年4月に策定した「岩美町地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」では、「再エネ設備や蓄電池の導入推進」を重点施策の一つに掲げ、その中で太陽光発電設備15件/年、蓄電設備8件/年の導入を目標としている。 引き続き、広報紙やホームページ、SNSによる情報発信により助成制度の周知を図り、家庭や事業所への導入を促進し目標達成に向けて取り組んでいきたい。																					
補助実績 (千円)	令和6年度 5,664	令和5年度 5,109	令和4年度 5,332																				

一般会計	2 款（総務費） 1 項 6 目	主管課	企画財政課
------	------------------	-----	-------

第 1 1 次総合計画の基本計画			みんなが助け合う 住み心地のよいまち		
補助金名	① J R 利用促進野外活動支援事業費補助金 ② 民間路線バス運賃補助金 ③ 久松・平野・本庄・太田集落タクシー助成		補助 団体名	① 町内小中高等学校、老人クラブ ② 町内在住者 ③ 該当集落に在住する中学生以上の者	
補助金額 （千円）	①	632	左記補助金に係る特定財源（千円） ① 諸収入（山陰本線利用促進補助金） 75		
	②	800			
	③	163			
補助対象 事業費 （千円）	①	632			
	②	1,308			
	③	241			
補助団体の活動状況					
① 町内小中高等学校が実施する野外活動、老人クラブ活動に要する費用					
補助目的					
① 山陰本線（岩美町内の駅から豊岡駅間又は青谷駅間）の利用促進を図る。					
② 町営バスの運賃均一制の導入に伴い、町内のバス移動に係る運賃負担の均衡を図る。					
③ 路線バスの利用が困難な地域に居住する者を対象に、タクシーの移動に対する助成を行うことにより、公共交通を利用しにくい地域を解消する。					
補助の成果					
① J R 利用促進野外活動支援事業費補助（補助率：10／10） 岩美中学校、岩美北小学校、西小学校、南小学校、岩美高等学校が学校活動で行った野外活動、老人クラブの活動に要する費用を助成。 児童・生徒316人、引率者30人、老人クラブは申請なし。 合計632千円（うちJ R 利用75千円）					
② 申請人数 174人（定期券35人、回数券139人） 助成金額 799,610円					
③ 登録人数 24人（久松6人、平野4人、本庄8人、太田6人） 利用回数 156回 助成金額 163,080円					
今後の課題					
鳥取県内の民間路線バスに、令和8年3月21日からキャッシュレス（ICOCA）が導入された。 J R については、鳥取駅～米子駅間での ICOCA 利用が可能となっており、令和9年春には因美線等にも利用エリアを拡大する予定であることが発表されている。鳥取駅以東については未導入であるため、鳥取駅以東へ導入されるよう引き続き要望していく必要がある。					
補助実績 （千円）	令和6年度		令和5年度		令和4年度
	①	900	①	1,133	① 1,599
	②	782	②	491	② —
	③	71	③	46	③ —

一般会計	2 款（総務費） 1 項 1 2 目
------	--------------------

主管課	総務課
-----	-----

第 1 1 次総合計画の基本計画		みんなが安心して 健やかに暮らせるまち	
補助金名	岩美町地域防犯カメラ設置補助金	補助団体名	自治会等
補助金額 (千円)	628	左記補助金に係る特定財源（千円）	
補助対象 事業費(千円)	773		
補助団体の活動状況			
事業主体：町内会、集落、自治会			
補助目的			
地域の自主的な防犯活動を補完し、犯罪のない安全なまちづくりに向けた地域の自主的な防犯強化の取り組みを支援する。 【補助制度の概要】 ・対象経費：防犯カメラの設置及び看板設置に要する経費 ・補 助 率：補助対象経費の 1 / 2 （補助対象経費上限額 2 0 万円） ※ただし、小規模集落等に対する軽減措置あり ・申請上限台数 2 台			
補助の成果			
○支援の実績			
申請団体		防犯カメラ設置台数（看板供）	
塩谷集落		2 台	
田後地区自治会		2 台	
○成果			
設置された集落等において、犯罪に対する抑止力の向上ならびに防犯意識の高揚が図られた。			
今後の課題			
中山間集落では高齢化、人口減少等により、地域住民による防犯体制の維持が困難になりつつあるため、制度周知を進めることで更なる制度活用を促し、地域の防犯力向上につなげたい。			
補助実績 (千円)	令和 6 年度	令和 5 年度	令和 4 年度
	497	—	—

一般会計	3 款（民生費） 2 項 1 目	主管課	子ども未来課
------	------------------	-----	--------

第 1 1 次総合計画の基本計画		みんなが安心して 健やかに暮らせるまち			
補助金名	地域こどもの生活支援強化事業費補助金		補助団体名	①ぷろじえくと えん ②ちゃれきんぐ(株) R ³ cafe	
補助金額 (千円)	2,854		左記補助金に係る特定財源（千円） 国庫補助金 1,902		
補助対象 事業費(千円)	2,854				
補助団体の活動状況			放課後等に食事、団らんなど大人との交流や様々な活動を通して、子どもたちの社会性・情操育成や生活習慣の獲得等を支えるとともに、安心安全で気軽に立ち寄り、過ごせる居場所を提供した。		
補助目的			子ども食堂の開設と運営を支援することで、支援が必要な子どもを早期に発見し、適切な支援機関につなげる仕組みをつくり、こどもに対する地域の支援体制を強化する。		
補助の成果			①「岩美こども食堂」に対して、運営費及び調理器具等備品の更新経費を補助。子どもの参加は前年より微減（26人）であったが、常に18人程度が利用し、親子にとっての居場所、交流の場となった。 ②「R ³ cafe」に対して、開設に係る立ち上げ経費及び運営費の一部（飲食店の場合、食事提供に要する経費は補助対象外）を補助。食事を提供するとともに、休日には自然体験や防災体験などの活動も行い、子どもの健全育成、地域コミュニティの活性化に寄与した。		
団体名 ：食堂の名称	実施 場所	開催状況	内容	参加者人数	補助金額
①ぷろじえくと えん ：岩美こども食 堂	浦富	月2回 (第2・4木曜) 24回開催	・食事の提供 ・ビンゴ大会 やクリスマス 会等イベント	中学生以下 421人 大人 490人 ボランティア <u>67人</u> 計978人	運営経費 1,070千円
②ちゃれきんぐ (株) ：R ³ cafe	陸上	R8.1.20 開設 週2回 18回開催	・食事の提供 (一汁一飯) ・学習支援 ・自然体験	子ども 27人 大人 <u>67人</u> 計 94人	事業立上経費 1,481千円 運営経費 303千円
今後の課題			物価高騰が続く中、既存団体の事業継続を支援するとともに、こどもの居場所を町の全域に広げるため、西小学校区域と南小学校区域で事業に取り組む団体の育成・支援に努める。		
補助実績 (千円)	令和6年度		令和5年度		令和4年度
	1,070		1,000		1,000

一般会計	3 款（民生費） 2 項 1 目	主管課	子ども未来課
------	------------------	-----	--------

第 1 1 次総合計画の基本計画		みんなが安心して 健やかに暮らせるまち													
補助金名	乳児用おむつ購入費助成金	補助団体名	1 歳未満の乳児を養育する保護者												
補助金額 (千円)	2, 611	左記補助金に係る特定財源（千円） 県補助金 1, 305													
補助対象 事業費(千円)	2, 611														
補助団体の活動状況		子育て世帯の経済的負担の軽減を図るため、乳児を養育する保護者に対して、おむつ購入費を助成する。 補助対象者：町内に住所を有する 1 歳未満の乳児を養育している保護者 （ただし、満 6 か月以降に本町に転入した乳児にかかる助成金の場合、満 1 歳の誕生日から 6 か月を経過する日が属する月の末日までとする。） 補助要件：おむつ購入に係る領収証等に基づき助成（乳児 1 名につき上限 5 万円）													
補助目的		乳児に必要なおむつの購入費を助成することにより、乳児期の子育てに係る経済的負担を軽減し、乳児の健やかな成長の促進を図り、福祉の向上及び少子化対策に寄与することを目的とする。													
補助の成果		物価高が続く中、毎日消費するおむつに係る経済的負担軽減により子育て支援を行った。													
		<table><tr><td>【実 績】</td><td>申請件数</td><td>実人数</td><td>助成金額</td></tr><tr><td>令和 7 年度</td><td>6 9 件</td><td>5 4 人</td><td>2, 6 1 1 千円</td></tr><tr><td>(前年度)</td><td>7 8 件</td><td>6 9 人</td><td>3, 2 5 0 千円</td></tr></table>		【実 績】	申請件数	実人数	助成金額	令和 7 年度	6 9 件	5 4 人	2, 6 1 1 千円	(前年度)	7 8 件	6 9 人	3, 2 5 0 千円
【実 績】	申請件数	実人数	助成金額												
令和 7 年度	6 9 件	5 4 人	2, 6 1 1 千円												
(前年度)	7 8 件	6 9 人	3, 2 5 0 千円												
今後の課題		本事業の周知においては、出生届出時の案内や乳児家庭全戸訪問時、1 歳の誕生日前の電話による個別の申請勧奨、子育て支援をまとめたパンフレット「すまいる」や町のホームページへの掲載により、全対象者に周知することができている。しかしながら、申請にはおむつ購入に係る領収証等の添付を求めているため、申請者の負担が少なくない。補助目的を達成しつつ、効率的に補助が行える方法を引き続き研究する必要がある。													
補助実績 (千円)	令和 6 年度 3, 250	令和 5 年度 1, 840	令和 4 年度 2, 355												

一般会計	5 款（農林水産業費） 1 項 3 目	主管課	農林水産課
------	---------------------	-----	-------

第 1 1 次総合計画の基本計画		希望あふれる産業を 創り・受け継ぐまち	
補助金名	多面的機能支払交付金	補助団体名	活動組織
補助金額 (千円)	48, 271	左記補助金に係る特定財源（千円） 県補助金 36, 203	
補助対象 事業費(千円)	48, 271		
補助団体の活動状況		1 対象農用地…農振農用地、農振農用地と一体的な維持が必要なその他の農用地 2 交付金の交付要件 活動組織が地域で取り組む活動について、事業計画(原則 5 年間)を作成し、市町村の認定を受けること。 3 交付金交付ルート 国 → 県 → 町 → 活動組織	
補助目的		過疎化・高齢化・混住化による集落機能の低下によって、農地、水路及び農道等の農業資源の管理が困難になっており、これらの保全が全国的な問題となっている。その対策として、関係する農業者だけではなく集落の住民を交えた地域ぐるみで行う共同活動や水路・農道等を長寿命化するための補修・更新を支援することによって、集落の農業資源の保全を図る。	
補助の成果		【農地維持】農地法面の草刈、水路の泥上げ、農道の路面維持等の保全活動に対する支援 活動組織：岩美町広域、岩常、白地、長谷、蒲生、洗銀山塩、岩井、法正寺、東因幡（9 組織） 【資源向上（共同活動）】水路、農道、ため池の軽微な補修に対する支援 活動組織：岩美町広域、岩常、白地、長谷、蒲生、洗銀山塩、岩井、法正寺、東因幡（9 組織） 【資源向上（長寿命化）】農業用水路、農道などの施設の長寿命化のための補修・更新等に対する支援 活動組織：岩美町広域、白地、長谷、岩井、東因幡（5 組織）	
今後の課題		高齢化や担い手不足により活動の継続が懸念されることから、各組織の事務負担軽減と効率化のため単独組織に対して広域組織への加入を推進する。また、19 組織が加入する広域組織は、令和 7 年度から事務局を道の駅が担っているが、組織数が多く業務が繁忙なため事務局と連携して円滑な実施を支援する。	
補助実績 (千円)	令和 6 年度	令和 5 年度	令和 4 年度
	45, 279	45, 439	47, 847

一般会計	5 款（農林水産業費） 1 項 3 目
------	---------------------

主管課	農林水産課
-----	-------

第 1 1 次総合計画の基本計画		希望あふれる産業を 創り・受け継ぐまち						
補助金名	中山間地域等直接支払交付金				補助団体名	協定締結団体等		
補助金額 (千円)	40, 217				左記補助金に係る特定財源（千円） 県補助金 30, 163			
補助対象 事業費(千円)	40, 217							
補助団体の活動状況								
1. 対象農用地…農振農用地で、一定の傾斜条件を満たす農地								
2. 活動条件								
① 耕作放棄地の発生防止、農業用施設の共同管理及び多面的機能を増進する活動等を行う団体は交付単価の 8 割を交付								
② 上記①に加え、複数の集落協定間でのネットワーク化（活動の連携）や統合、多様な組織等の活動への参画により将来に向けて活動が継続的に行われるための体制づくりに取り組む団体は交付単価の 10 割を交付								
3. 集落協定の締結状況								
① 協定集落及び活動単価								
集落協定名	東因幡	山ノ神	蒲生	法正寺	岩井	小田南部	小田東	相谷
取組選択状況	10 割	10 割	10 割	10 割	10 割	10 割	10 割	8 割
② 協定締結面積 2, 523, 075 ㎡ ③ 交付金額 39, 276, 211 円								
4. 個別協定の締結状況								
① 認定農業者 1 名 ② 協定締結面積：82, 522 ㎡ ③ 交付金額：940, 755 円								
補助目的								
中山間地域が有する水源かん養、土砂崩落防止等の多面的機能を発揮するため、農業生産条件不利地域に交付を行い、耕作放棄の防止、農業用施設の適正管理及び集落機能の強化を図る。								
補助の成果								
協定の内容に従って、農用地、水路及び農道等の保全管理、景観作物の作付けなど多面的機能を増進する活動等が実施された。このことにより、協定農用地の適切な管理が行われ耕作放棄地発生を防止するとともに、集落機能の強化が図られた。								
今後の課題								
令和 7 年度から開始した第 6 期対策（令和 7 ～ 1 1 年の活動計画）について、各集落が活動を円滑に継続できるよう各協定のフォローアップを行い申請書類の作成補助など必要な事務支援を実施する。またスマート加算等有効な制度の活用を推進する。								
補助実績 (千円)	令和 6 年度		令和 5 年度			令和 4 年度		
	41, 383		41, 305			41, 351		

一般会計	5 款（農林水産費） 2 項 2 目	主管課	農林水産課
------	--------------------	-----	-------

第 1 1 次総合計画の基本計画		希望あふれる産業を 創り・受け継ぐまち			
補助金名	危険木予備伐採事業補助金		補助団体名	集落・地区・町内会	
補助金額 (千円)	3,689		左記補助金に係る特定財源（千円） 県補助金 1,844 森林整備促進基金繰入金 1,845		
補助対象 事業費(千円)	4,273				
補助団体の活動状況					
事業実施主体は、倒木が発生することにより、交通障害や人命に被害がおよぶ恐れのある国道、県道及び町道等が存在する集落・地区・町内会とする。					
補助目的					
災害時等に倒れることが予想される危険木を予め伐採する経費を補助することで、倒木被害や交通障害を未然に防止し、町民の安全安心な生活と適切な森林整備に資することを目的とする。					
補助の成果					
令和 7 年度は、前年度から要望のあった本庄、蒲生地区と、新規要望のあった荒金、塩谷、法正寺地区で、計 6 か所の予備伐採に対して補助金を交付した。					
地区名	補助対象経費	補助金額 (基本、3/4)	【内訳】		自己財源 (基本、1/4)
			町 (1/2)	県 (1/2)	
蒲生地区(2 か所) ※補助率 3/4	995,500	746,625	373,313	373,312	248,875
本庄地区(1 か所) ※補助率 3/4	697,285	522,963	261,482	261,481	174,322
荒金地区(1 か所) ※補助率 15/16	297,000	278,437	139,219	139,218	18,563
塩谷地区(1 か所) ※補助率 15/16	407,000	381,562	190,781	190,781	25,438
法正寺地区(1 か所) ※補助率 15/16	1,876,664	1,759,372	879,686	879,686	117,292
合計	4,273,449	3,688,959	1,844,481	1,844,478	584,490
※30 世帯以下・高齢化率 50%以上のため、負担軽減措置により 1/4×1/2×1/2=1/16 負担となる。					
今後の課題					
要綱改正に伴い、山林地目以外の土地に生える危険木も対象となったことから、広く事業の情報提供を行うとともに、道路担当部局・地域防災部局との連携を強化し、倒木被害や交通障害の未然防止に取り組む。					
補助実績 (千円)	令和 6 年度	令和 5 年度		令和 4 年度	
	4,581	6,189		—	

一般会計	5 款（農林水産費） 3 項 2 目	主管課	農林水産課
------	--------------------	-----	-------

第 1 1 次総合計画の基本計画		希望あふれる産業を 創り・受け継ぐまち			
補助金名	漁業雇用促進対策事業費補助金	補助団体名	各漁業経営体、漁業協同組合		
補助金額 (千円)	9,894	左記補助金に係る特定財源 (千円) 県補助金 8,421			
補助対象 事業費(千円)	13,607				
補助団体の活動状況					
○沖合底びき網漁船：網代 10 隻 田後 6 隻 計 16 隻 ○定置網漁業：浦富 1 隻 本町水産業の主力である沖合底引き網漁業と沿岸漁業では、高齢化に伴う後継者の確保が大きな課題となっており、漁業協同組合と漁業協同組合に所属する各漁業経営体は、新規就業希望者を広く募集し、漁業体験を積極的に行う中で、後継者の育成を図っている。					
補助目的					
漁業経営体もしくは漁業協同組合が就業希望者を新たに雇用し、漁労技術等の研修を実施することにより、漁船員の円滑な確保及び雇用機会の創出を図る。					
補助の成果					
令和 7 年度は、研修事業に係る本補助金について、前年度からの継続・当該年度新規の案件を含めて、雇用型研修（注1）では網代 4 人・田後 4 人（うち 2 人下船）、独立型研修（注2）では網代 1 人の申請があった。途中で下船する者もあり、令和 7 年度中に研修予定期間を満了したのは雇用型研修では網代 1 人であった。 （注1）漁業経営体が漁船員として雇用し、現場業務を通じて行う教育訓練 （注2）漁業協同組合が行う個人が独立操業を目指すための研修					
研修種別	研修生	年齢	通算の研修期間 (予定含む)	令和 7 年度中 の研修期間	就業状況
雇用型 (最長 1 年) 休漁期は除く	網代①	20	R6. 10. 1～R7. 9. 30	R7. 4. 1～R7. 9. 30	就業（継続）
	網代②	25	R7. 10. 1～R8. 9. 30	R7. 10. 1～R8. 3. 31	R7 新規
	網代③	25	R7. 10. 1～R8. 9. 30	R7. 10. 1～R8. 3. 31	〃
	網代④	24	R7. 10. 1～R8. 9. 30	R7. 10. 1～R8. 3. 31	〃
	田後①	22	R7. 10. 1～R8. 9. 30	R7. 10. 1～R8. 3. 31	〃
	田後②	33	R7. 10. 1～R8. 9. 30	R7. 10. 1～R7. 10. 1	R7 新規 (中途下船)
	田後③	25	R7. 10. 1～R8. 9. 30	R7. 10. 1～R8. 1. 12	〃
	田後④	26	R7. 10. 1～R8. 9. 30	R7. 10. 1～R8. 3. 31	R7 新規
独立型 (最長 3 年)	網代⑤	48	R6. 8. 1～R9. 7. 31	R7. 4. 1～R8. 3. 31	継続中
今後の課題					
沖合底引き網漁船の乗組員や沿岸漁業者の高齢化が進む中、水産業を持続可能なものとするには若年の乗組員を確保することが重要であり、本事業は、この対策に有効な施策として実施している。 昨年に引き続き、新規就業希望者の申請があるため、県及び漁業関連団体等と連携し就業者の確保を図る。					
補助実績 (千円)	令和 6 年度		令和 5 年度		令和 4 年度
	10,137		8,279		15,943

一般会計	6 款（商工費） 1 項 2 目	主管課	商工観光課
------	------------------	-----	-------

第 1 1 次総合計画の基本計画		希望あふれる産業を 創り・受け継ぐまち		
補助金名	中小企業等特別金融支援事業補助金	補助団体名	町内事業者、金融機関	
補助金額 (千円)	11, 997	左記補助金に係る特定財源（千円） 基金繰入金 3, 657 国補助金 1, 500 県補助金 5, 999		
補助対象 事業費(千円)	11, 997			
補助団体の活動状況				
地域経済に大きな影響を及ぼす経済環境の変化を受け、経営の安定に深刻な影響が生じている事業者であって、鳥取県の制度融資により運転資金等を借り入れた町内事業者又は貸し付けた金融機関に対し、経営の維持、安定を支援するため利子額の補助を行う。				
融資内容	新型コロナウイルス感染症対策	R4 燃油及び原材料価格高騰・円安対策	R6 為替相場の急激な変動対策	
融資取扱期間	R2. 5. 1～R4. 3. 31	R4. 4. 1～R5. 3. 31	R6. 4. 1～R7. 3. 31	
補助対象期間	5 年間（60 月分）	3 年間（36 月分）	3 年間（36 月分）	
補助対象者	金融機関	借入事業者	借入事業者	
補助対象経費	無利子化に要する経費	借入者が支払う利子額	借入者が支払う利子額	
補助割合	年利のうち 0. 7%相当分	支払利子額相当分	支払利子額相当分	
補助目的				
新型コロナウイルス感染症や物価高騰、為替相場の急変など経済変動の影響を受ける町内事業者が借り入れた鳥取県の制度融資について、県と協調して利子補助を行うことで、町内事業者の経営の維持及び安定に資することを目的とする。				
補助の成果				
町内事業者が鳥取県の制度融資を利用して借り入れた事業用資金の返済に係る利子の一部を補助し、事業者の負担軽減を図り事業の安定化に繋げた。				
【交付実績】				
融資内容	新型コロナウイルス感染症対策	R4 燃油及び原材料価格高騰・円安対策	R6 為替相場の急激な変動対策	合計
対象融資件数	148 件	1 件	14 件	163 件
利子補助総額	7, 314, 013 円	14, 009 円	4, 669, 252 円	11, 997, 274 円
県補助金額	3, 657, 000 円	7, 004 円	2, 334, 626 円	5, 998, 630 円
今後の課題				
物価高騰や為替相場に加え、中東情勢に起因する資材不足など、町内事業者への影響が懸念されることから、今後も商工会や県と連携し、必要に応じた支援を行う必要がある。				
補助実績 (千円)	令和 6 年度	令和 5 年度	令和 4 年度	
	12, 868	9, 696	7, 744	

一般会計	6 款（商工費） 1 項 3 目	主管課	商工観光課
------	------------------	-----	-------

第 1 1 次総合計画の基本計画		魅力ある郷土を守り 活かすまち	
補助金名	アニメ・漫画を活用した観光誘客促進事業費補助金	補助団体名	岩美町観光協会
補助金額 （千円）	1,000	左記補助金に係る特定財源（千円）	
補助対象 事業費（千円）	4,011		
補助団体の活動状況		岩美町観光協会は町内の観光資源・観光情報のPRや各種誘客事業を行うと同時に、本町がロケ参考地となっているアニメ「Free!」を活用したアニメツーリズムにも力を入れている。 【R7実施事業】 「Free!」の新たな描き下ろしイラスト（令和6年度作成済み）を活用し、以下の事業を展開した。 ・観光協会ホームページに「Free!」特設サイトを作成 ・町内の主な観光地と「Free!」ロケ参考地、サイクリングルート等を載せたリーフレットを20,000部配布 ・ポストカードを作成し、町内宿泊施設や飲食店を利用したファンに贈呈 ・町内の観光地を巡るスタンプラリー（アナログ）を実施。スタンプを全て集めた参加者には、アニメ公式イラストを使用したノベルティを贈呈	
補助目的		アニメ「Free!」を活用した誘客施策等を実施することで、若く行動力のあるアニメファンの来町を促し、町内施設・事業者の利用促進など地域振興を図る。	
補助の成果		アニメ「Free!」シリーズとタイアップして新たな描き下ろしイラストを活用し、岩美町に来なければ味わえないコンテンツを提供した。 令和7年5月25日のFree!×岩美町コラボイベントで岩美町を訪れた約3,000人のファンだけでなく、イベント以外の時期にも訪れるファンに向けた通年事業を展開。スタンプラリー台紙の発行部数は14,500部を数え、町内全域への広範な回遊と、飲食や宿泊を伴う直接的な地域消費を強力に後押しした。 ・R7 岩美町観光会館来館者数：36,260 名	
今後の課題		令和7年度に続き、令和8年度も Free!×岩美町コラボイベントを予定しているが、アニメシリーズの今後の展開が未定となっており、動きがなければ、来町するファンは今後緩やかに減少していくことが予想される。ファンのニーズや関わり方について、改めて検討する必要がある。	
補助実績 （千円）	令和6年度	令和5年度	令和4年度
	543	947	—

一般会計	7 款（土木費） 2 項 2 目	主管課	建設水道課
------	------------------	-----	-------

第 1 1 次総合計画の基本計画		みんなが助け合う 住み心地のよいまち	
補助金名	集落内除雪活動支援事業費補助金	補助団体名	町内各地区・集落
補助金額 (千円)	1,223	左記補助金に係る特定財源（千円）	
補助対象 事業費（千円）	1,742		
補助団体の活動状況		【補 助 対 象 者】 町内各地区・集落（地区・集落数：53） 【補助対象経費】 小型除雪機に係る費用（消耗品費、点検費、修繕費、燃料費等）、業者委託料 ＊業者委託料：大雪警報発令時の降雪に係る除雪作業委託に限り対象とする。 【補 助 率】 3／4 【補 助 上 限 額】 小田・蒲生地区の全集落、田河内 100千円 世帯数200世帯未満の地区（集落） 50千円 世帯数200世帯以上の地区（集落） 100千円	
補助目的		各地区・集落が生活道路等確保のために行う自主的な除雪活動を支援することにより、安定した生活基盤の確保と地域コミュニティー活動の維持を図る。	
補助の成果		【事業実施主体】 各地区・集落（29集落等） ※令和6年度実績：26集落等 ※（田後、陸上、町浦富、駅前、浜浦富、牧谷、相谷、岩本、リバーサイド、大谷、長郷、院内、荒金、黒谷、池谷、延興寺、外邑、小田、広岡、高山、二恩志、新井、太田、宇治、岩井、真名、塩谷、洗井、鳥越） 【補助金交付額】 1,223千円 【補助対象経費】 小型除雪機等に係る費用（消耗品費、点検費、修繕費、燃料費等） 大雪警報発令時の降雪に係る除雪の業者委託料	
今後の課題		令和元年の制度開始から、補助制度の周知を行ってきたことで、地区・集落に制度周知が図られ、近年は約25集落前後の申請数です。 現行制度では業者委託については、大雪警報が発令された場合のみの委託費が対象となっていますが、集落内の高齢化により作業負担が大きくなりつつあります。大雪警報が発令されていない場合の除雪の委託料についても、補助対象とする制度の緩和について検討します。	
補助実績 (千円)	令和6年度	令和5年度	令和4年度
	998	767	836

一般会計	9 款（教育費） 1 項 2 目	主管課	教育委員会事務局
------	------------------	-----	----------

第 1 1 次総合計画の基本計画		ともに学び・つながり 互いを認めあうまち																													
補助金名	・ 岩美町中学生通学費補助金 ・ 高等学校生徒通学費補助金 ・ 岩美高等学校生徒下宿費補助金 ・ 中学生自転車保険加入補助金	補助団体名	生徒の保護者																												
補助金額 (千円)	13, 575	左記補助金に係る特定財源（千円） 県補助金 4, 018 地方債 2, 500																													
補助対象 事業費(千円)	13, 575																														
補助団体の活動状況																															
○公共交通機関定期代（対象：岩美中学校生徒及び岩美高校生徒）・・・通学用定期券の購入費全額補助する。 ○公共交通機関定期代（対象：町外中学校生徒及び町外高等学校等生徒）・・・公共交通機関定期券の購入費で1月当たり3, 000 円を超える部分を全額補助する。 ○自転車ヘルメット購入費（対象：岩美中学校生徒のみ）・・・町内の指定店で購入した自転車通学用ヘルメットの購入費全額を補助する。（在学中1回限り。） ○岩美高等学校下宿費補助・・・生徒1人につき月額1万円を補助する。 ○中学生の自転車保険加入経費・・・自転車保険加入経費の1, 000 円（上限）を補助する。																															
補助目的																															
○中学校へ自転車・JR・バスで通学する生徒及び高等学校へ JR・バスで通学する生徒の保護者に対し、通学費の一部または全額（岩美中学校生徒、岩美高等学校生徒）を補助することにより、負担の軽減を図るとともに、公共交通機関の利用の促進を図る。 ○遠距離により自宅からの通学が困難なため下宿して就学する岩美高等学校生徒を支援し、就学機会の確保を図る。 ○中学生の自転車保険加入に係る経費の一部を補助することで事故への備えと交通安全に対する意識の高揚を図る。																															
補助の成果																															
通学費、下宿費の一部を補助することにより、保護者の負担軽減が図られた。 ○令和7年度実績：（ ）は前年度 【岩美町中学生通学費補助金】 <table><tr><td>区分</td><td>件数（件）</td><td>補助金額（千円）</td></tr><tr><td>公共交通機関</td><td>306(277)</td><td>5, 197(4, 264)</td></tr><tr><td>ヘルメット</td><td>12(17)</td><td>63(88)</td></tr><tr><td>計</td><td>318(294)</td><td>5, 260(4, 352)</td></tr></table> 【岩美高等学校下宿費補助金】 <table><tr><td>申請者数（人）</td><td>申請月数（月）</td><td>補助金額（千円）</td></tr><tr><td>12(16)</td><td>137(171)</td><td>1, 370(1, 710)</td></tr></table> 【中学生自転車保険加入補助金】 <table><tr><td>申請者数（人）</td><td>補助金額（千円）</td></tr><tr><td>13(13)</td><td>13(13)</td></tr></table> 【高等学校生徒通学費補助金】 <table><tr><td>区分</td><td>件数（件）</td><td>補助金額（千円）</td></tr><tr><td>公共交通機関</td><td>407(341)</td><td>6, 932（6, 871）</td></tr></table>				区分	件数（件）	補助金額（千円）	公共交通機関	306(277)	5, 197(4, 264)	ヘルメット	12(17)	63(88)	計	318(294)	5, 260(4, 352)	申請者数（人）	申請月数（月）	補助金額（千円）	12(16)	137(171)	1, 370(1, 710)	申請者数（人）	補助金額（千円）	13(13)	13(13)	区分	件数（件）	補助金額（千円）	公共交通機関	407(341)	6, 932（6, 871）
区分	件数（件）	補助金額（千円）																													
公共交通機関	306(277)	5, 197(4, 264)																													
ヘルメット	12(17)	63(88)																													
計	318(294)	5, 260(4, 352)																													
申請者数（人）	申請月数（月）	補助金額（千円）																													
12(16)	137(171)	1, 370(1, 710)																													
申請者数（人）	補助金額（千円）																														
13(13)	13(13)																														
区分	件数（件）	補助金額（千円）																													
公共交通機関	407(341)	6, 932（6, 871）																													
今後の課題																															
令和5年度から高校生及び中学生通学費助成の拡充（岩美中学校生徒及び岩美高等学校生徒は、購入費全額を補助。町外中学校生徒及び町外高等学校等生徒は1月当たり3, 000 円を超える部分を全額補助）を実施している。 引き続き、SNS 等も活用した更なる制度周知に努め、保護者の経済的負担の軽減と公共交通機関の利用促進を一層図っていきたい。																															
補助実績 (千円)	令和6年度		令和5年度	令和4年度																											
	(岩美町中学生通学費補助金)		4, 352	3, 721	1, 190																										
	(高等学校生徒通学費補助金)		6, 871	6, 406	1, 593																										
	(岩美高等学校下宿費補助金)		1, 710	1, 630	2, 010																										
	(中学生自転車保険加入補助金)		13	21	21																										

一般会計	9 款（教育費） 1 項 2 目	主管課	教育委員会事務局
------	------------------	-----	----------

第 1 1 次総合計画の基本計画		ともに学び・つながり 互いを認めあうまち	
補助金名	高等学校等新入生通学費補助金	補助団体名	生徒の保護者
補助金額 (千円)	1,659	左記補助金に係る特定財源（千円） 県補助金 480	
補助対象 事業費(千円)	1,659		
補助団体の活動状況			
高等学校等入学時の保護者の経済的負担を軽減するため、公共交通機関を利用して通学する生徒の保護者に対して、通学費の一部（公共交通機関 3 ヶ月分定期代全額）を助成する。			
補助対象者 ①岩美町に住所を有し町外の高等学校等に進学する者の保護者 ②岩美町外に住所を有し岩美高等学校に進学する生徒の保護者 補助対象経費 高等学校等へ通学するために購入した公共交通機関の 3 ヶ月定期券代			
補助目的			
高等学校等へ進学し、公共交通機関を利用して通学する生徒の保護者に対し、通学に要する経費の一部を補助することにより、保護者負担の軽減を行い、就学の支援を行うとともに、少子化対策へと繋げ、更なる町の活性化を図る。			
補助の成果			
通学費の一部を補助することにより、保護者の負担軽減を行い、就学の支援を行った。			
【令和 7 年度高等学校等新入生通学費補助金実績：（ ）は前年度】			
区 分	申請件数（件）	補助金額(千円)	
岩美高以外	50 (53)	1,107 (1,101)	
岩 美 高	29 (24)	552 (454)	
計	79 (77)	1,659 (1,555)	
今後の課題			
公共交通機関で通学する高校生については、令和 2 年度から入学より 3 ヶ月分の通学費全額（町外在住の岩美高校生は 20,030 円上限）を助成する拡充を実施している。			
引き続き、保護者の経済的負担を軽減することにより、岩美町への定住促進及び岩美高校への進学者増の一助となるよう制度の周知に努めたい。			
補助実績 (千円)	令和 6 年度	令和 5 年度	令和 4 年度
	1,555	2,003	1,983

一般会計	9 款（教育費） 2 項 2 目 3 項 2 目	主管課	教育委員会事務局
------	-----------------------------	-----	----------

第 1 1 次総合計画の基本計画		ともに学び・つながり 互いを認めあうまち	
補助金名	特色ある学校づくり推進事業補助金		補助団体名 町立小中学校 4 校
補助金額 (千円)	(補助金) 2,883 (報償費) 582	左記補助金に係る特定財源（千円） 基金繰入金 3,400	
補助対象 事業費(千円)	3,465		
補助団体の活動状況			
令和 7 年度の活動状況			
【北 小】「かしこく」につながる取組：読み語り、魅力ある授業づくり、ふるさとキャリアミーティング 「あかるく」につながる取組：クラブ活動、福祉体験活動、芸術鑑賞、手話交流会 「たくましく」につながる取組：命の学習、スキー体験学習 「ふるさと」につながる取組：手旗伝承、スルメ作り、全校海水浴、おそうじカヤック、 海と山のつながり学習、どんぐり拾い、町探検			
【西 小】地域とともにある学校づくり（信）：農業体験活動、板ワカメづくり、お魚料理教室、おそうじシーカヤック、 潮風まつり、鼓笛隊・和太鼓演奏活動 未来を拓く学力の育成（知）：教育実践に係る指導方法の研究（外部指導者による助言） 豊かな心の育成（徳）：アートギャラリー、図書館活動、保護犬との講習、赤ちゃん交流、 平和学習、芸術鑑賞会 健康安全への意識の高揚と運動に親しむ児童の育成（体）：海の学校、スキー教室			
【南 小】豊かな情操教育（読書）：読み聞かせ、保護者研修、百人一首大会 （歌唱）：公演・交流・体験活動、学習発表会演技指導 （自然体験）：スキー体験、シーカヤック体験、水田・米作り、畑・花、収穫祭 （その他）：傘踊り、なかよし班、本物の絵画に触れる体験、海辺の移動教室			
【岩美中】道徳教育の充実と心の育成：職場体験学習、ふるさと先生に学ぶ、面接体験学習、平和学習 主体的・対話的で深い学びの実現：校内授業研究会、第三者評価研修会 生 命 の 継 承：いのちの出前授業、保育所訪問、赤ちゃんとのふれあい体験事業 地 域 学 習：山陰海岸ジオパーク研修、地域の食材調理実習 主体的な生徒会活動・貢献：駅前イルミネーション作成、あいさつ運動、モザイク壁画作成			
補助目的			
町立小中学校に各校 100 万円ずつの補助金（報償費含む）を交付し、地域の歴史・特色などを取り入れた教育や生きる力を身につける教育などの学校独自の創意工夫による特色ある教育活動を実践し、特色ある学校づくりを進めることを支援する。			
補助の成果			
各校が地域の方々と繋がって地域の文化や歴史等を学ぶことで地域の魅力を再認識したり、普段は触れる機会が少ない本物の芸術等に触れたり、その他様々な体験や仲間づくり等の学校独自の教育を実践することができ、児童生徒の豊かな心身の育成を図ることができた。			
今後の課題			
制度開始から 20 年以上が経過し、各学校とも独自性のある教育活動が一層充実してきている。今後も各学校の教育課題の克服や児童生徒の地域の誇りに繋がる取組となるよう、学校運営協議会とともに事業内容を検証し、一層の創意工夫を行いながら事業を進める必要がある。			
補助実績 (千円)	令和 6 年度 3,553	令和 5 年度 3,916	令和 4 年度 3,871